



## 音楽があふれる街 狭山市がそうなるために 演奏家としてできること

とばせそういちろう  
鳥羽瀬宗一郎さん  
(ピアニスト)



HITO

「ピアニストって言つと小さいころから英才教育を受けていたと思うかたが多いみたいですけど、僕は全くそうではないんです。」と朗らかに笑つ鳥羽瀬宗一郎さん。九州出身国立音楽大学卒業後に音楽の都ウィーンに留学し、その経験を生かして、現在は祇園に居を構え演奏活動を続けています。

5歳から音楽教室でピアノを習っていました。高校生まではスポーツで汗を流している時間のほうが多かったという鳥羽瀬さん。「他の人より本格的に始めた時期が遅いですが、本場である海外に出て、もっとピアノのことを学びたいと思つたんです。」と、留学

「留学先をウィーンにしたのは、大学在学中に師事したウィーンの教授との相性が良かったからです。」

を決めた理由を答えます。しかし、スタートは遅くても、ピアノへの情熱は人一倍で、ピアノの魅力を知った高校当時、音大への進学を熱望し、周囲の難しいのでは、という声をよそに1日8時間以上の練習をこなし、努力家でもありました。そして音大在学中に、人生の転機が訪れます。ある日本人教授に、あなたにはヨーロッパに近い音楽性がある。早いうちに留学して感性を磨いたら、というアドバイスを受けたのです。留学試験で世界中から集まったピアニストの卵たちの演奏を聴いた鳥羽瀬さんは、日本では特にコンクールなどでの失敗が許されませんから、必然的に技術を磨く練習に熱心です。しかし外国の演奏家は、たとえ技術が粗削りでも素晴らしい表現力や音楽性を持っていて、演奏に深みがあり、それが認められる環境でした。と、日本と海外とのギャップを目の当たりにします。こうして留学したウィーンでさまざまなことを学びました。練習で行



き詰まったとき、先生に『今日は散歩に行つてきなさい。』と言われたんです。なぜか不思議でしたが、勧められたとおり郊外を散歩していたら、自然に自分の演奏のイメージが湧いてきて、先生はこういう表現を求めていたんだな、こんなことを伝えられたんだな、と、新鮮な驚きを語ります。それに気づいたのは、ヨーロッパの街並みに音楽が溶け込み、クラシックが文化・伝統として暮らしの中に根づいているから、そのような環境で育つた演奏家は自然に表現力や音楽性が磨かれるとも言います。狭山市も音楽があふれ、皆さんが親しめる街になると良いですね。そのために僕も演奏家として、心を映す表現と親しみやすい演出を心がけます。」と語ります。

出演が決まっている、12月23日開催の市庁舎サロンコンサートでは、クラシックを身近に感じられるよう、誰もが聴いたことのあるベートーベンとショパンを選曲しています。ピアノと音楽、そして狭山を愛するピアニストの演奏をぜひ皆さんもお楽しみください。

# 市民みんなが監視員 不法投棄ば「しない」「させない」 「許さない」がキーワード

## REPORTER'S EYE

### 不法投棄監視員



【リポーター】  
瀧澤啓子さん(柏原在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、読者がレポートします。



今年の5月に実施された圏央道側道のクリーン作戦では、約3トンのごみが回収されました。市内では、さまざまな清掃活動が実施されています。ぜひ参加してください。

私は買い物に行くとき、よく人間川沿いにあるサイクリングロードを通りますが、ときおり草の茂みの中に不法投棄されたごみを見かけ、「こんな所に、だれが、どうして、捨てるの」と思います。一部の人でない人の不法投棄が景観を損ね、ときには自然が破壊され、私たちの生活の安全が脅かされることさえあります。そこで、今回は不法投棄監視員の活動を生活環境課で伺いました。

森、人間川河川敷右岸・左岸、圏央道周辺を監視区域に定め、監視区域付近の自治会から推薦された21名の監視員を委嘱しています。その主な仕事は、月2回以上の区域内の監視と定期的な監視報告会、不法投棄の防止などの提言、クリーン活動への参加です。

特に監視活動は、不法投棄がされないように監視区域を見回り、不法投棄を発見した場合は、市に通報や報告を行います。市ではその連絡を受け、現地で行為者の特定調査などを行います。しかし、不法投棄は夜間に行われることがほとんどで、目撃者がいないこと、車などは所有者を判らなくするため、車体ナンバーが削つてあることから、その特定がなかなかできません。13年度に行為者を特定できたのは、通報を受けた81件のうち、わずか3件だったそうです。

このような理由で、不法投棄されたごみは、今までは職員と監視員が協力して撤去していました。そのため発見後、撤去に時間がかかってしまっていたのです。しかし、ごみをそのままにしておく、それが呼び水となり、どんどん増えてしまう原因にもなります。そこで、その対策として今年度から



監視員の櫻井さんと笹井ダム付近にいきました。全体的には、とてもきれいでしたが、数か所でも不法投棄が見られました。

調査・撤去作業を委託し、発見後2、3日で撤去を終了するように改善しました。きれいなところには、ごみを捨てにくい環境です。不法投棄しにくい環境をつくるのが肝心なのです。という担当者のお話も、そのとおりだとうなずけました。昨年の4月から家電リサイクル法が施行され、家電4品目の廃棄が有料化されたことで、エアコン、冷蔵庫などの不法投棄が多くなったと聞いています。今後ますます不法投棄監視員の活躍が期待されますね。

きれいな河川敷や武蔵野の雑木林などを散策することは、心も体も大変気持ちがいいものです。この素晴らしい環境を守るために、私たち市民一人一人が監視員の役割を担い、不法投棄のない街にしたものです。